

様式 2

県立高等学校重点校制度に係る成果報告書

学校名 鳥取西高等学校

重点項目	大学進学重点校	提出日	令和3年5月11日
------	---------	-----	-----------

1 学校目標	
「深い学び」「幅広い学び」による高い進路目標の実現 ～探究的な学びの充実と高大接続改革への対応～	
2 重点項目に係る目標・成果	
目標	成果
<p>○学問の奥深さに触れ、深く学ぶことの喜びを実感できる授業を研究・実践する。</p> <p>○「大学進学重点校」として生徒の高い進路目標を実現するための施策を徹底する。</p> <p><数値目標></p> <p>○大学合格者数 国公立大学 230 名、難関 10 大学・医学科 60 名</p> <p>○卒業時における生徒の4技能の総合的な英語力としてCEFRのB1～B2レベルの生徒の割合 30%</p>	<p>○教科間で連携する授業や生徒が主体的・対話的に学ぶ学習の研究・実践に取り組み、授業アンケートで「授業や行事により教養や関心の幅が広がり、自ら学ぶ意欲が高まった」とする生徒の割合が約 90% となった。</p> <p>○オンライン研修会、校内での研究・実践で得た知見を教科内で共有し、授業に活かした。「授業を受けて科目への興味・関心が高くなった」生徒の割合は 83% となった。</p> <p><数値結果></p> <p>○国公立大学 212 名、難関 10 大学・医学科 46 名</p> <p>○CEFRのB1～B2レベルの生徒の割合 33.3%</p>
3 実施事業	
<p>【高等学校課事業】</p> <p>○アクティブ・ラーニング推進のための講師派遣事業 「SDGs時代の高校生課題研究をテーマとする校内研修会」 課題研究に取り組む基本的な考え方や改善すべきポイントについて講義を受け、本校教員が総合的な探究の時間において指導に当たる際の指導力向上に寄与した。また、新しい学習指導要領における課題研究のあり方や全国の動向について知ることができ、新年度の企画の工夫改善につながった。</p> <p>【独自事業】</p> <p>○オンライン学習・ICT活用の研究 ICTを活用した協同的・探究的な授業実践、教科横断的な授業の取組を推進するために、先進校（岡山県立林野高校等）の視察等とおして、実践的な教科指導力の向上を図り、教科指導に関わる最新の幅広い知識が得られた。</p>	
4 総合所見（成果・評価）	
<p>様々な事業によって、本校の重点目標である「『深い学び』『幅広い学び』による高い進路目標の実現」に向けて、教員は先進校視察・学会、研究会へ参加する予定であった。しかしながら新型コロナウイルス感染症により参加予定の研修等が中止になるなど計画通りに実施できなかったことは、非常に残念である。そのような中ではあったが、オンラインで実施できるものについては積極的に取り組むことができた。コロナ禍にあって、協同的な学習も実施が困難ではあったが、感染防止対策を徹底しながら多くの教員が実施に努めた。その結果、主体的に学ぼうとする態度や互いに議論して解決方法を提案しようとするような積極的な姿勢が見られるようになった。このような取組を通して、知的総合力を身につけた生徒が高い進路目標を実現できた。</p>	

※枚数任意